

# わたしはだれでしょう

小学校・2年生

## I プログラムについて

### 1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「コミュニケーション能力」）

＝【人権感覚育成のための視点】

肯定的な関わり方による相手との良好なコミュニケーション能力を育成し、互いの意見や気持ちを適切かつ豊かに伝え合い、分かり合うことができるようにする。

### 2 関連する教科等について

#### ○学級活動

内容（2） 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全  
（イ よりよい人間関係の形成）

### 3 人権教育上の視点

- （1）互いに伝え合い、分かり合うために、コミュニケーションを深める姿勢を身に付けることができる。（価値・態度）
- （2）相手の気持ちを考えながら聞き、自分の思いや考えを適切に伝えることができる。（技能）

## II アクティビティーについて

### 1 概要

#### ○活動1

不特定多数の友達とじゃんけんをしながら、互いに自己紹介をする。

#### ○活動2

グループで自己紹介をする。グループの友達のよいところやすごいと思うところ等についての伝え合いをもとに、学級全体へ肯定的な話し方で他己紹介をする。聞いている児童は、紹介されている人が誰なのかを想像して答える。活動を振り返り、感じたことや思ったことの意味交流をする。

## 2 準備するもの

- 自己紹介カード
- 他己紹介カード
- 振り返りシート

## 3 アクティビティの進め方

### ○活動1 「紹介じゃんけん」

- ① スタートの合図とともに、一定時間歩き回って相手を探し、握手をする。
- ② じゃんけんをして、勝った人は、負けた人に自分のことについて一つ紹介する。
- ③ じゃんけんに負けた人は、紹介されたことを認めたり褒めたりしながら聞く。
- ④ 終了の合図があるまで、できるだけたくさんの人とじゃんけんをする。

### ○活動2 「わたしはだれでしょう」

- ① 生活班等を活用し、5～6人程度のグループを作る。
- ② グループ内で、自己紹介をする。
  - ・聞き手は、認めたり褒めたり拍手をしたりするなど、必ず肯定的な聞き方で聞くようにする。
- ③ 自己紹介した人のよいところやすごいと思うところ等を他己紹介カードに記入する。
- ④ 他己紹介カードに記入したことを1人ずつ発表しながら伝え合う。
- ⑤ グループの友達について、他己紹介カードに記入したことをもとに、学級全体に肯定的な話し方で他己紹介をする。ただし、名前は知らせない。
- ⑥ 聞いている他グループは、紹介されている人が誰なのか想像しながら聞き、どうしてその人だと思ったのか理由を挙げ答える。正解したら、みんなで認め合い、拍手をする。
- ⑦ 他己紹介を繰り返し行う。
- ⑧ 今日の学習を振り返り、感じたことや思ったことの意味交流をする。

## 4 アクティビティを指導する際のポイント

- 肯定的な聞き方をすると、よりよい人間関係づくりにつながることをおさえて指導することが大切である。

- 朝や帰りの会等で、友達のよいところを見つけて紹介する活動をしてよくとよい。その際、見付けてもらったよいところの数に差が出ないように配慮をする。
- 事後指導として、友達のよさを見付け、積極的に伝え合える具体的な目標を決め、継続して取り組み、目標が達成できるようにするとより効果的である。
- 友達のことがある程度分かってくる2学期以降に実施すると効果的である。

### Ⅲ 授業の実際

時間	学習活動 発問 (T) 児童の反応例 (C)	教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎)
5分	<p>1 「紹介じゃんけん」</p> <p>T これから、できるだけたくさん の友達と自己紹介をします。まず 握手をして、じゃんけんをします。 勝った人は自分のことを一つ紹介 しましょう。負けた人はうなずい たり褒めたりしながら聞きましょう。</p> <p>T クラスの友達のことについて新 しく知ったことはありませんか。今 日はクラスの友達のことをもっと よく知るための学習をします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ルールの説明を簡潔に行う。</li> <li>◎ 自分の思いや考えを適切に伝える ことができるように、事前に書いて おいた自己紹介カードを持って 行わせる。また、友達の自己紹介 を聞くときは、相手の目を見て、 うなずいたり、褒めたりしながら 聞くように伝える。(技能)</li> <li>・ 終了の合図まで、できるだけ多く の友達と行わせる。</li> <li>・ 「紹介じゃんけん」を振り返り、本 日の学習への意欲をもたせる。</li> </ul>
30分	<p>2 「わたしはだれでしょう」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;">                     自分や友だちのよいところをたくさんはっけんしよう                 </div> <p>T まず、グループの中で自己紹介 をします。聞く人は、「いいね」「す ごいね」など、褒めたりうなずい たり拍手をしたりしながら聞しま しょう。</p> <p>T 次に、自己紹介した友達のよいと ころやすごいなと思うことを「友だ ちのよいところはっけんカード」に 書き、発表して伝えましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 教師が範を示し、聞き手が必ず肯 定的な聞き方で聞くようにさせる ことで、相手の気持ちを考えなが ら聞くことができるようにする。 (技能)</li> <li>・ 「自己紹介→記入→伝える」という 流れで、1人ずつ順番に行わせる。</li> <li>・ よいところやすごいと思うところ については、普段の生活の中から</li> </ul>

	<p>C ○○さんは、友達が困っているときに、いつも手伝ってあげていて優しいと思う。</p> <p>C ○○さんは、いつも楽しい絵を描いて、みんなを楽しませてくれているのがすごいと思う。</p> <p>C ○○さんは、いつでも姿勢がよくてかっこいい。</p> <p>C ○○さんは、人の話をよく聞いているところがすてきだ。</p> <p>C ○○さんは、いつも笑顔で話してくれるのでうれしい。</p> <p>T 次に、「わたしはだれでしょうクイズ」をします。グループの友達の良いところやすごいと思うところを、そのよさやすごさがわかるようにクラスみんなに伝えましょう。</p> <p>T 聞く人は、誰のことを言っているのか予想しながら聞き、分かったら理由もつけて答えましょう。</p> <p>C ○○さんだと思う。理由は、いつも優しく声をかけてくれるから。</p> <p>C いつも一生懸命そうじをしているので、○○さんだと思う。</p>	<p>でも、自己紹介の中からもよいことを伝える。</p> <p>《例》 「係や当番の仕事を頑張っている」 「みんなと仲よく遊んでいる」 「なわとびが上手」 「いつもたくさん発表している」 「字がすごくていねい」 「転んだときに、大丈夫と言って保健室まで一緒に行ってくれた」</p> <p>・正解したら、クラスみんなで認め合い、拍手をさせる。</p> <p>◎肯定的な聞き方ができている児童を具体的に称賛することで、互いに意欲的に伝え合い、肯定的に分かり合えるようにする。 (価値・態度)</p>
<p>10分</p>	<p>3 振り返り</p> <p>T 今日の学習を振り返り、思ったことや分かったことを書きましょう。</p> <p>T 思ったことや分かったことを発表しましょう。</p> <p>C 相手のことを考えながら聞くと、相手のことがよく分かった。</p> <p>C 自分や友達の良いところがたくさん分かってよかった。</p>	<p>・振り返りシートに記入したことをもとに感想を発表し、学級内で考えを交流させる。</p>

**IV 資料**

(1) 自己紹介カード

<p>じこしょうかいカード</p> <p style="text-align: right;">名前 _____</p>	
すきなこと	すきなもの
とくいなこと	おてつだいでいること
がんばっていること	2年生になって1ばんうれしかったこと

(2) 他己紹介カード

<h2 style="margin: 0;">友だちのよいところはっけんカード</h2>	
名前 _____	
(                    ) さんの よいところ・すごいと思うところ	(                    ) さんの よいところ・すごいと思うところ
(                    ) さんの よいところ・すごいと思うところ	(                    ) さんの よいところ・すごいと思うところ

(3) 振り返りシート

## ふりかえりカード

名前 \_\_\_\_\_

○今日の学しゅうをふりかえって書きましょう。

①友だちのことをよく知るために、あい手の気もちを考えながら、進んで話を聞けましたか。あてはまるものに○をつけましょう。

**よくできた      だいたいできた      少しできた      あまりできなかった**

②今日の学しゅうをふりかえり、思ったことやわかったことを書きましょう。

# 誰もが 過ごしやすい学校にしよう！

小学校・4～6年

## I プログラムについて

### 1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「コミュニケーション能力」）

＝【人権感覚育成のための視点】

外国人の気持ちに寄り添ったり、外国人の立場に立って物事を進めたりするなど、外国人と分かり合うための活動を通して、相手の気持ちや立場を考えてコミュニケーションを図ろうとする能力を養う。

◇関連する個別の人権課題「外国人」

### 2 関連する教科等について

#### ○学級活動

内容（2） 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全  
（イ よりよい人間関係の形成）

### 3 人権教育上の視点

（1）互いに分かり合うために、相手の気持ちや立場を考えてコミュニケーションを深める態度を身に付けている。（価値・態度）

## II アクティビティーについて

### 1 概要

#### ○活動1

導入「読んでみよう！」を実施し、外国語で書かれた文字が読めないことの不自由さを体験する。

#### ○活動2

外国人の立場に立って、グループごとに校内の各部屋についてパソコンを使って外国語で説明する掲示物を製作する。掲示物は実際に掲示する。

#### ○活動3

外国人の児童にも配慮がされた学校になったかどうか話し合う。

## 2 準備するもの

- タイ語、韓国・朝鮮語で書かれたプリント（タイ語と韓国・朝鮮語の例）
- ワークシート
- 掲示物の例
- A4判のコピー用紙と画鋏、セロテープ（印刷・掲示用）

## 3 アクティビティの進め方

- 活動1 「読んでみよう！」
  - ① タイ語や韓国・朝鮮語で記されたプリントを見て、どんなことが書かれているか考える。
  - ② 外国から転校してきた児童が、学校生活で困るかについて話し合う。
- 活動2 「外国語の掲示物をつくろう！」
  - ① グループごとに、掲示物を製作する部屋とその説明等を考えて、ワークシートに記入する。
  - ② ワークシートをもとに、グループごとに発表し、意見交換をする。
  - ③ グループで協力して掲示物を製作し、該当箇所へ掲示する。
- 活動3 「振り返り」
  - ① 学習を通して、気付いたことや考えたことを振り返る。

## 4 アクティビティを指導する際のポイント

- 導入「読んでみよう！」では、実際に外国語の文章を読んで、言葉が全く理解できないことにより、その人の能力を発揮する妨げ等になることを体験させ、コミュニケーションの大切さに気付けるようにする。
- 「外国語の掲示物をつくろう！」では、外国人の気持ちを理解させるために、導入で児童が不安になった気持ちを想起させる。
- 外国人とのコミュニケーションを図ることの他、外国人の人権を尊重することについても触れる。
- 例えば、外国籍児童の転入、国際姉妹都市交流による児童生徒の受け入れ、日本人学校児童の体験入学の前などに実践すると効果的である。

## Ⅲ 授業の実際

時間	学習活動 発問（T） 児童の反応例（C）	教師の働きかけ（・） 人権教育上の配慮（◎）
5分	1 導入「読んでみよう！」 T プリントを読んでどんなことが書かれているか教えてください。	・ パソコン室で授業を開始する。 ・ タイ語や韓国・朝鮮語で書かれたプリントを配布する。



	<p>C 日本語ではないので何と書いてあるのか分からない。</p> <p>C 外国の言葉なので読めない。</p> <p>T これらは日本語で〇〇と書いてあります。文字が読めないと学校生活も困りますね。外国から転校してきた子も同じように困るでしょうか。</p> <p>C 文字が読めないと教室の場所が分からないので不便だと思う。</p> <p>C この部屋はどのように使うかが分かると安心できる。</p> <p>T 今日は、外国から来た友達も安心して学校生活が送れるような掲示物を作りましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と話し合う時間を確保して、自分だけでなく、他の人も分からずに困っていることを理解させる。</li> <li>・「掲示物の例」の日本語訳を読み上げる。</li> <li>・掲示物は部屋の名前を示すだけでなく、使い方が分かるとさらによいことにも触れる。</li> </ul>
<p>35分</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">外国語の掲示物をつくろう！</p> <p>2 学習内容（手順）の確認</p> <p>T はじめに部屋の名前をローマ字で書きます。次に、その説明を考えます。最後に、パソコンの翻訳機能を使って外国語にします。</p> <p>3 グループによる製作活動</p> <p>T 外国人が困らないためには、どのような情報が必要なのか考えましょう。</p> <p>C この部屋は何の教科で使うのかを知らせるとよいと思う。</p> <p>C 部屋に入るときの注意点や使用するマナーを知らせるとよいと思う。</p> <p>4 各グループの発表</p> <p>T グループごとに、掲示物を製作する部屋の名前とその説明内容について発表してください。発表を聞いて付け足したい内容があれば、発表してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを配布して説明し、学習の手順が分かるようにする。</li> <li>・掲示物の例を掲示して、イメージをもたせる。</li> <li>・外国人にとって困っていることや必要な情報は何かをグループで相談して考えさせる。</li> <li>◎コミュニケーションを図る姿勢を身に付けるために、相手の立場に立って、不安を解消できる内容を考えるよう指示する。(価値・態度)</li> <li>・付け足した方がよい内容を学級全体に問いかけることで、児童の主体性を生かすようにする。</li> <li>◎外国人の立場に立って、分かりやすく安心できる表現になっている</li> </ul>

	<p>C ○○を知らせると、外国からの転校生が困らないと考えました。</p> <p>C ○班と○班の意見を合わせればさらによい掲示物になると思う。</p> <p>5 グループによる掲示物の製作</p> <p>T それでは、グループごとにパソコンを使って掲示物の製作を始めてください。翻訳機能を使って外国語の文にします。</p> <p>6 該当箇所への掲示</p> <p>T グループごとに扉の所に掲示して戻ってきましょう。</p>	<p>かどうかを確認するように助言する。(価値・態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・翻訳機能の使い方と、文の主語は「あなた」にすることを指導する。</li> <li>・パソコン操作が苦手なグループには適宜支援する。</li> <li>・入口に掲示するよう指示する。</li> <li>・掲示前と掲示後の写真を撮影する。</li> </ul>
5分	<p>7 振り返り</p> <p>T 掲示物を製作・掲示して、どんな感想がありますか。</p> <p>C 誰もが勉強するのに困らない学校になってよかった。</p> <p>C 日本語が分からない外国から来た子は助かると思う。</p> <p>T 相手のことを考えて工夫をすることで、使いやすくなるのですね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示後の写真を掲示する。児童用のパソコン画面に表示してもよい。</li> <li>・本時の学習を振り返り、コミュニケーションの大切さを確認する。</li> </ul>

**IV 資料**

(1) タイ語と韓国・朝鮮語の例 (内容は、171ページ参照)

ห้องนี้เป็นห้องของอาจารย์ ตอนเช้าห้องขอให้เคาะประตูและแจ้งชื่อก่อนเข้าห้อง และเข้าห้องตามมารยาทที่ถูกต้อง รวมถึงไม่ส่งเสียงดังหรือทำกริยาไม่สุภาพในห้องและทางเดิน

여기는 선생님들이 계시는 방입니다. 방에 들어갈 때는 문을 노크하고 자신의 이름을 말합니다. 그리고 예의 바르게 인사를 하고 방에 들어갑니다. 이 방이나 복도에서 떠들지 마십시오.

(2) ワークシート

# 外国語の掲示物をつくろう！

年 組 番 名前 ( )

1 場所（ローマ字で）

---



---

2 場所の説明（日本語で）

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

3 付け足し（日本語で）

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

## (3) 掲示物の例 (説明用)

## 職員室

(Syokuin-Shitsu)

School staff room

This is a teachers' room.

When you enter this room, you should knock on the door and tell your name.

And you enter politely.

Don't make a noise in this room and corridor.

ここは先生方の部屋です。

入室するときは、ノックをして自分の名前を言います。

そして礼儀正しく入室します。この部屋やその廊下で騒いではいけません。

※169ページのIV資料(1)で示した外国語は、翻訳すると全て(3)「掲示物の例」の日本語になります。

# 外国からの留学生

中学校・2年生

## I プログラムについて

### 1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「コミュニケーション能力」）

＝【人権感覚育成のための視点】

外国人であるかどうかに関わらず、相手の立場や気持ちを理解したり配慮したりすることの大切さを考えさせる。また、相手への配慮や支援は、それぞれのニーズに合わせる必要があり、どのようにコミュニケーションをとればよいのかを、個人とクラスの両方の視点から考えられるようにする。

◇関連する個別の人権課題「外国人」

### 2 関連する教科等について

○総合的な学習の時間

### 3 人権教育上の視点

(1) 共生社会の実現には、相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意思を表現することが大切であると気付く。(価値・態度)

## II アクティビティーについて

### 1 概要

○活動1

ワークシート1に自分の考えを書く。

○活動2

学校生活に沿って、それぞれの場面で留学生が困ってしまいそうなことや、それを解決する具体的な手立てをグループで話し合い、意見をまとめる。また、グループで話し合ったことを発表する。

### 2 準備するもの

○ワークシート1、2

### 3 アクティビティーの進め方

○活動1 「留学生を受け入れるにあたって」

- ① 留学生を受け入れる側としての楽しみなこと、不安なことを個人で考え、ワークシート1に記入する。

○活動2 「学校生活スタート」

- ① 学校生活を送る上で、留学生が困ってしまいそうなことや、それを解消するために「あなたができること、したいこと」を各自で考え、ワークシート2に記入する。
- ② グループで話し合い、意見をまとめる。
- ③ グループで話し合ったことを、クラス全体に発表する。

○活動3 「振り返り」

- ① 気付いたことや考えたこと、今後の生活に生かせることを振り返る。
  - ・他者の考えや外国の文化に対する理解を深める。
  - ・相手の立場に立ってコミュニケーションをとる大切さについて考えを深める。
  - ・今後の生活への生かし方について考える。

### 4 アクティビティーを指導する際のポイント

- 外国人を例にしたアクティビティーではあるが、外国人だけに限らず、全ての人に対して、どのように「コミュニケーション」をとるとよいのかについて考えるようにする。
- 学校の状況に応じて、留学生の出身国や文化、言語などを設定してもよい。
- 例えば、クラスに新しく生徒が転入することが分かった時に、転入前に取り組むと効果的である。

## III 授業の実際

時間	学習活動 発問 (T) 生徒の反応例 (S)	教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎)
5分	1 アイスブレイキング 「世界のじゃんけん」 T 世界のじゃんけんをやってみましょう。 S 楽しい。 S 意味が分からない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体例を示しながら楽しく行うようにする。</li> <li>・相手を選ばず、いろんな人と関わるよう声掛けをする。</li> </ul>

<p>35分</p>	<p>2 課題の設定</p> <p>T このクラスに明日から留学生が来るとします。どんなことが楽しみ、または不安でしょうか。ワークシート1に書いてみましょう。</p> <p>S 外国の話が聞けることが楽しみだ。</p> <p>S 言葉が通じるかが不安だ。</p> <p>T 今度は、留学生の気持ちになって、楽しみなこと不安なことをワークシート1に書いてみましょう。</p> <p>S 日本の話が聞けることが楽しみだ。</p> <p>S 言葉が通じるかが不安だ。</p> <p>3 話し合い</p> <p>T 学校生活を考えて、留学生が「困ってしまいそうなこと」やそれを解消するために「あなたができること、したいこと」を友達と相談せずに、ワークシート2に記入しましょう。</p> <p>T グループ（3～4人）に分かれて、話し合ってみましょう。（話し合い活動）</p> <p>T 各グループで話し合ったことを発表しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進め方を説明する。</li> <li>・「知らないこと」から不安になる気持ちと、新たに「知ること」への楽しみな気持ちの両方があることを理解するよう促す。</li> <li>・「外人」という言葉が出てきたら、「外国人」と使うように指導する。</li> </ul> <p>◎相手の立場に立って考えられるようにするために、クラス内のことだけでなく、学校生活全体について広い視野で考えるよう声掛けをする。（価値・態度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の人やグループの意見を否定せずに、互いに受け入れ合うよう助言・支援する。</li> </ul>
<p>10分</p>	<p>4 振り返り</p> <p>T 今日の学習を通して気付いたこと、感じたこと、今後にかかしていきたいことを考えてみましょう。</p> <p>S 外国人に限らず、相手の立場に立って物事を考えることは大切だ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート2に自分の考えや今後にかかしていきたいことを記入させる。</li> <li>・ねらいに沿った感想を書いている生徒がいたら、その感想を発表させ、学級全体で共有できるようにする。</li> </ul>

## IV 資料

## (1) ワークシート1

## 外国からの留学生①

年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

次の生徒2人の会話を読んで、自分の考えを書いてみましょう。

A : 聞いた? 明日からクラスに留学生が来るらしいぞ。  
 B : 聞いた、聞いた。でも、どこの国からの留学生なんだろう……?  
 A : どこだろうね。気になるけど、いろいろ楽しみだね。  
 B : う～ん……。

(1) Aくんが楽しみだと思っているのはどんなことでしょうか。予想してみましょう。

(2) Bさんが不安に思っているのはどんなことでしょうか。予想してみましょう。

(3) 留学生はどのように思っているのでしょうか。楽しみだと思っていること、不安に思っていることの両方を考えてみましょう。



(2) ワークシート2

## 外国からの留学生②

年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

(1) 留学生の学校生活がスタート

困ってしまいそうなこと	あなたができること あなたがしたいこと

(2) 今日の学習を振り返って

今日の学習を通して感じたこと、考えたことをまとめましょう。

- ・クラス全員が充実した学校生活を送るために、どのような点に気を付けるとよいでしょうか。
- ・これからの学校生活において、生かしていきたいことを書きましょう。

(3) 世界のジャンケン例

・「スペイン」のジャンケン

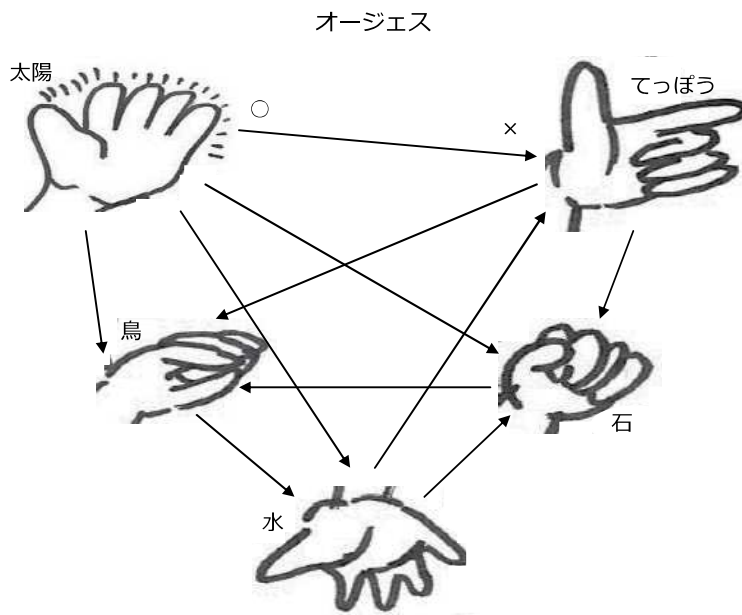
掛け声は、「パエドラ、パペル、ティヘラ！」

「グー（石）」=パエドラ

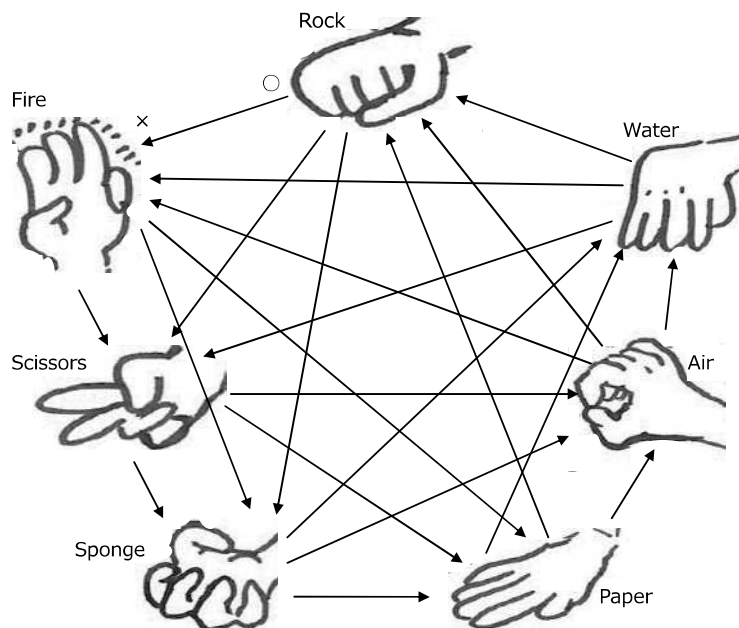
「チョキ（ハサミ）」=ティヘラ

「パー（紙）」=パペル

・「マレーシア」のじゃんけん



・「アメリカ」のじゃんけん



# ともに分かり合うために

## ～よりよいコミュニケーションを目指して～

高等学校・1～3年生

### I プログラムについて

#### 1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「コミュニケーション能力」）

＝【人権感覚育成のための視点】

外国人の居住者との間に発生した問題について、解決方法を考える活動を通して、他者の気持ちや考えを共感しながら受け止め、分かり合えるようにする。

◇関連する個別の人権課題「外国人」

#### 2 関連する教科等について

○総合的な学習（探究）の時間

#### 3 人権教育上の視点

（1）相手の立場を考えて互いに分かり合えるよう、適切なコミュニケーションの手立てを考えることができる。（技能）

### II アクティビティーについて

#### 1 概要

##### ○活動1

課題について、どのようにして解決するか、個人で考えをまとめる。

##### ○活動2

課題について、三つの解決方法ごとにグループで話し合う。

##### ○活動3

新たなグループで、解決方法ごとにグループで話し合った内容を参考にして、総合的によりよい解決方法を話し合う。

##### ○活動4

各グループで話し合った内容を発表した後、再度個人で考えをまとめ、最初の自分の考えと比較する。最後に、本時の学習を振り返る。

#### 2 準備するもの

○学習資料（グループごとに3種類のうち一つ）

○ワークシート

### 3 アクティビティーの進め方

#### ○活動1 「課題の把握」

- ① 個人で課題の解決方法を考え、ワークシートにまとめる。

#### ○活動2 「モデルケースについての検討」

- ① グループに分かれ、それぞれ指定された解決方法を確認する。

※グループ構成(例)：全体を6グループ(A～F)に分ける。

- ◇A・D …「市役所に連絡して対応してもらう」解決方法を指定。
- ◇B・E …「ゴミ置き場を共同で使う住民同士で話し合う」解決方法を指定。
- ◇C・F …「自分でゴミ出しのルールを説明しに行く」解決方法を指定。

- ② 各グループで、指定された解決方法について、それぞれ「良い点」「良くない点」を話し合い、ワークシートにまとめる。

#### ○活動3 「総合的な解決方法についての話し合い」

- ① 新たなグループを構成する。

※新たなグループ構成(例) 36人の場合

<p>&lt;活動2のグループ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇Aグループ(A1～A6)</li> <li>◇Bグループ(B1～B6)</li> <li>◇Cグループ(C1～C6)</li> <li>◇Dグループ(D1～D6)</li> <li>◇Eグループ(E1～E6)</li> <li>◇Fグループ(F1～F6)</li> </ul>		<p>&lt;活動3の新グループ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□A1・D1・B1・E1・C1・F1</li> <li>□A2・D2・B2・E2・C2・F2</li> <li>□A3・D3・B3・E3・C3・F3</li> <li>□A4・D4・B4・E4・C4・F4</li> <li>□A5・D5・B5・E5・C5・F5</li> <li>□A6・D6・B6・E6・C6・F6</li> </ul>
--	--	---

- ② 新たなグループで、活動2で話し合った内容を報告し合う。
- ③ 新たなグループで、課題の解決方法について総合的に話し合う。
- ④ ③の結果をワークシートの様式に合わせてまとめ、全体発表用の原稿を作成する。

#### ○活動4 「各グループによる発表」

- ① グループごとに、活動3で話し合った課題の解決方法を発表する。
- ② 改めて、個人で一番良いと思う課題の解決方法を考える。

#### ○活動5 「振り返り」

- ① 活動1と活動4において個人で考えた解決方法を比較し、どのように変わったのかをワークシートにまとめる。
- ② 本時の学習内容を通して考えたこと、学んだこと、今後に生かしていきたいことをワークシートにまとめる。

### 4 アクティビティーを指導する際のポイント

- どれが一番良い解決方法かを定めることが目的ではなく、話し合いなどを通して、相手の立場を考えて互いに分かり合うための視点から、適切なコミュニケーションの手段を考えることが目的であることに留意する。
- 外国籍の生徒の有無等、クラスの実態に合わせて実施を検討する。
- 例えば、探究する課題として「国際理解」を設定した学習で実践すると効果的である。

### Ⅲ 授業の実際

時間	学習活動 発問 (T) 生徒の反応例 (S)	教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎)
5分	<p>1 課題の把握</p> <p>T ワークシートの課題について、どのような解決方法があるのか、あなたの考えをワークシートの活動1に記入しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを配布する。</li> <li>・自分の身近でも起こりうる問題としてとらえさせ、活動に取り組む意欲を高める。</li> </ul>
35分	<p>2 指定の解決方法についての検討</p> <p>T 6グループに分かれて、解決方法を検討しましょう。</p> <p>T 各グループでそれぞれ指定の解決方法について、その「良い点」「問題のある点」を話し合い、ワークシートにまとめましょう。</p> <p>S 自分でゴミ出しのルールを説明に行くのは、言葉が通じないかもしれないので難しい。</p> <p>S 住民同士で話し合うのは、全員が自分の問題として考えてくれるので良い方法だ。</p> <p>3 総合的な解決方法の協議</p> <p>T 今の各グループから1人ずつ集まり、新グループを作りましょう。</p> <p>T 新グループで、旧グループで話し合った内容を報告しましょう。</p> <p>T 報告内容を参考に、グループで課題の解決方法を総合的に改めて話し合い、ワークシートに全体発表用の原稿を作成しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6グループに分け、3種類の解決方法を2グループずつに割り当てる。</li> <li>・机間指導を行い、話し合いが進んでいないグループには、「自分が生活習慣や社会ルールが異なる国(土地)で生活することになった状況を想像してみよう」等の言葉掛けを行い、活動を活性化させる。</li> <li>・今話し合っている内容を新たなグループで報告することを予告することで、次の活動にスムーズに取り掛かれるようにする。</li> <li>・各グループから1人ずつ機械的に移動して新グループを編成する。</li> <li>・適時メモを取りながら報告を聞くよう指示する。</li> <li>・解決方法は、指定の3種類の方法から選択してもよいし、グループで新たな方法を考えてもよいことを伝える。</li> </ul>

<全体発表用の原稿の例>

私たちのグループが考えた解決方法は、事前に日本語が理解できるかを確認し、市役所の担当者にも参加してもらってアパートの住民全員で話し合いを行う、です。

この解決方法を選択したのは、ルールが守れない理由として日本語が理解できないことが予想され、通訳を用意しておくと思疎通が容易になるから。また、市役所の担当者に同席してもらうことで、参加した全員が自分の問題として冷静に話し合うことができる、と考えたからです。

	<p>4 解決方法の共有</p> <p>T 各グループで考えた課題の解決方法を全体で発表しましょう。</p> <p>T 各グループの発表を聞いて、改めて個人で一番良いと思う課題の解決方法を考えてみましょう。</p>	<p>◎一人一人が適切なコミュニケーションの手立てについて考えを深められるよう、改めて個人で考える時間を確保する。(技能)</p>
<p>10分</p>	<p>5 振り返り</p> <p>T 改めて個人で考えた解決方法と最初に活動1で考えた解決方法を比較して、どのように変わったかワークシートにまとめましょう。</p> <p>T 今日の学習を通して、考えたことや学んだこと、今後に生かしていきたいことをワークシートにまとめましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えが具体的にどのように変化したかをワークシートにまとめることで、他者とのコミュニケーションによって自分の考えを深めることができることを実感させる。</li> <li>・振り返りの内容をまとめたものを後日配布することで、個人の学びを全体に広げる。</li> </ul>

## IV 資料

### (1) 学習資料

〔グループA・Dの解決方法〕  
 ゴミ出しのルールを守らない外国人の居住者について、  
市役所に連絡して対応してもらおうと思います。

〔グループB・Eの解決方法〕  
 ゴミ出しのルールを守らない外国人の居住者について、  
ゴミ置き場を共同で使う住民同士で話し合おうと思います。

〔グループC・Fの解決方法〕  
 ゴミ出しのルールを守らない外国人の居住者について、  
自分でゴミ出しのルールについて説明しに行こうと思います。

(2) ワークシート

( )年( )組 氏名( )

【課題】

同じアパートに住んでいる外国人の居住者は、ゴミ出しのルールを守ってくれません。どのようにしたら解決できるのか考えましょう。

◇活動1：個人で解決方法を考えましょう。

◇活動2：グループで以下の解決方法について考えましょう。

※各グループに配られた学習資料を確認し、以下の \_\_\_\_\_ に記入しましょう。

〔グループ \_\_\_\_\_ の解決方法〕：

ゴミ出しのルールを守らない外国人の居住者について、  
\_\_\_\_\_ と思います。

① この解決方法の「良い」点はどのようなことですか。

② この解決方法の「問題のある」点はどのようなことですか。

※ 活動2で話し合った内容を、活動3でそれぞれ報告し合います。

◇活動3：グループで解決方法を考えましょう。

① 活動2の各グループで話し合った内容を報告しましょう。

※報告のはじめに、活動2で指定されていた「解決方法」を発表しましょう。

メモ

- ② ①の報告内容を参考にして、新たにグループとしての解決方法を考え、記入欄の形式に合わせて全体発表用の原稿を作成しましょう。

**私たちのグループが考えた解決方法は、**

---



---



---

です。

**この解決方法を選択したのは、**

---



---

と考えたからです。

- ◇活動4：改めて自分で一番良いと思う解決方法を書いてみましょう。

---

- ◇活動5：振り返り

- ① 課題の解決方法について、活動1で考えたものと、今の考えを比較して、どのように変わったかをまとめましょう。

---

- ② これまでの学習を通して感じたこと、学んだこと、今後の生活に生かしていきたいことをまとめましょう。

---